

# 茅ヶ崎郷土会 勉強会資料

2021年7月20日

茅ヶ崎郷土会 名取龍彦

名取移動博物館

第2回

糸もつくるが人間もつくる  
～純水館茅ヶ崎製糸所と小山房全～

〈会場〉

うみかぜテラス 2F1 集会室

〈予定〉 13時～16時

第1部 13:15～14:00

関係資料閲覧 別紙出展目録参照

移動博物館です。今回は紙ベースの資料を持  
参しました。一通りの解説をします。

その後は、手に取って自由に閲覧なさって  
ください。手袋の着用をお願いします。

第2部 14:10～15:45

1 房全の実家工藤家

2 小山家と小諸純水館

○「糸もつくるが、人間もつくる～純水館茅ヶ  
崎製糸所と小山房全～」を今後も継続して実施予  
定です。第3回以降の勉強会の日時は未定です。

## 1 房全の実家工藤家

**工藤善助** 安政5(1858)年～昭和13(1938)年

長野県小県郡上丸子村 (現上田市「蚕都上田」)

妻：たち 子(8人)：倫(ひとし) 房次郎(房全) いつ 純三 まさ  
ふじ のぶ 利助

- 蚕種業(蚕糸業：蚕種業 養蚕業 製糸業)  
微粒子病(江戸時代末、明治始めにヨーロッパで大流行)  
工藤組(蚕種業) 工藤善助も組合員「餘慶堂」
- 明治33年 長野県蚕種同業組合連合会議長 明治36年同会会長  
丸子村長 明治24年小県郡会議員 明治30年長野県会議員 二期目県会議員  
明治37年～大正9年 衆議院議員
- 大正8年 ILO(国際労働機関)の第1回国際労働会議に参加のため訪米  
大正11.12年 欧米蚕糸業視察団長
- 明治20年 生糸共同組合依田社を下村亀三郎らと創立 大正3年依田社社長  
依田銀行頭取、帝国蚕糸(株)、信濃絹糸紡績(株)、信濃電気(株)、上  
田 蚕種(株)、丸子鉄道(株)などの重役を務める

## 2 小山家と小諸純水館

**小山久左衛門(正友)** 文久2(1862)年～大正7(1918)年

長野県北佐久郡小諸町

妻：(掛川)梅路 子(8人)：喜代野 邦太郎 志づ子 維平 敬三  
富子 貴子(長男が小山盛男氏) 幸子  
喜代野：房全と結婚 子(4人)：泰子(掛川泰子の長男が掛川國雄氏)  
英朋 房弘 房之助

- 延宝2年 小諸で小山家が溜り屋を創業 味噌、醤油、酢などを作る  
小諸藩の御用達 豪商 酢屋久左衛門 酢久 ヤマク 酢久商店
- 小山同姓会(小山一族会家憲 祭資会)
- 明治21年 先代小山久左衛門正道死去 正友が27歳で久左衛門を継ぐ  
小諸駅開業  
明治23年 大里村諸に純水館創業 その後買収や新工場建設で規模を拡大  
大正6年 純水館茅ヶ崎製糸所創業(久左衛門支援) 佐久蚕種(株)設立  
昭和3年 御大典奉祝献上繰糸を行なう(小諸純水館・純水館茅ヶ崎製糸所)
- 明治26年 木村熊二が私立小諸義塾を設立 久左衛門らが支援
- 明治32年 島崎藤村が小諸義塾の国語・英語教師に着任
- 明治34年 小諸義塾女子学習舎を開設 久左衛門らが支援 長女喜代野入学
- 明治36年 喜代野が房全と結婚 大正9年 敬三フランスへ留学
- 明治16年 久左衛門正友が京都に留学(2年間 西村藁園塾 富岡鉄斎)
- 小諸町長、学務委員、小諸郵便局長、小諸銀行重役、信濃山林会名誉会長  
荒町和合会初代会長を久左衛門が務める
- 大正7年 久左衛門死去(56歳) 邦太郎(29歳)が引き継ぐ  
昭和3年 邦太郎衆議院議員当選 政界へ

図1 純水館茅ヶ崎製糸所開業式参列者 大正6年 『房全追憶録』



(月五年六正大) 者列参式業開所絲製崎ヶ茅館水純

図2 小山房全  
『房全追憶録』



図3 工藤善助  
『日本蚕糸業史第1巻』



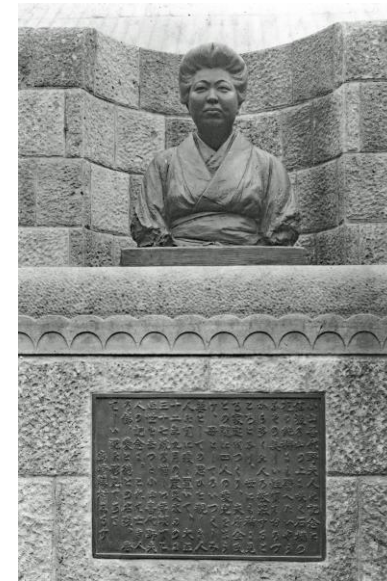
図4 小諸義塾女子学習舎 明治36年卒業記念写真 森健氏提供



図5 小山久左衛門胸像  
尾高忠昭氏撮影 (2020年)



図6 小山喜代野胸像  
森健氏提供  
碑文 (追悼文) 島崎藤村



→  
←  
製作  
田嶋碩朗